

みやぎ労福協

No. 460

発行 宮城県労働者福祉協議会
〒980-0014 仙台市青葉区本町2-12-7
TEL 022-223-2221 FAX 022-223-2239
<http://miyagi.rofuku.net/>
発行人 大竹 松男



新年ご挨拶

2014年



宮城県労働者福祉協議会 会長 山崎 透

宮城労福協に集う皆さん、明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、明けて 2014 年、心を新たに夢と希望を持って新年を迎えられたと思います。

昨年は、東日本大震災から 3 年目を迎え、県内被災地のインフラが徐々に整備が進む一方で、災害復興住宅の建設や集団移転事業の遅れにより、被災者の生活再建にはまだまだ多くの時間が必要であると再認識させられた一年となりました。

こうした復興・再生状況の中で、東北楽天ゴールデンイーグルスが球団創設 9 年目にして初の日本一となり、仙台市の中心部を優勝パレードするなど、多くの人々に夢と感動を運び、被災地である宮城県にとって大きな明るい話題となりました。

この間、私たち宮城労福協の活動においても、復興支援の政策要請を宮城県や仙台市など各市町村に行ったり、気仙沼や石巻、多賀城を始めとする被災地の子どもたちを楽天イーグルスの試合に招待をしたり、各地方労福協において被災地支援の取り組みを行ったりと、継続的な取り組みを続けてきました。

明けて 2014 年も、私たち労働者福祉に携わるものとして、県内を始めとする被災地の一刻も早い復旧・復興に総力を挙げるとともに、「連帯と協同で作る安心の福祉型社会」の構築による地域の再生を目指していかなければと考えます。

是非、午年の 2014 年、皆さんにも宮城労福協の運動にご理解を頂きつつ、そして皆さんとご家族にとって実り多き一年となりますようご多幸を心より祈念申し上げ、新年のメッセージとさせていただきます。



労働者福祉中央協議会 会長 古賀 伸明

新年明けましておめでとうございます。

今年は、2009 年に策定した労福協 2020 年ビジョンの折り返し点にあたります。2012 年の国際協同組合年を契機に、中央労福協は労働組合と協同組合との連携強化を呼びかけ、私も「共助を必要とする人たちが共助の仕組みに参加できるようにしよう」と問題提起してきました。

今年は、労働団体と事業団体の連携行動を通じて、協同事業の基盤強化に向けた利用促進と、労働者福祉のウィングの拡大をめざす共助拡大運動の 2 つを活動の軸とし、昨年 1 年かけて議論してきたことを具体的な形にし、行動に移していく年にしていきたいと思えます。

また、昨年末の生活困窮者自立支援法の成立を受けて、2015 年度からの全国での実施に向けて各地域において本来の趣旨にそった実効ある制度にしていくとともに、格差や貧困のない社会に向けた運動に取り組みます。

引き続き、それぞれの立場からの労福協運動への参画とご支援をお願い申し上げます。

労働団体 事業団体 年頭メッセージ



連合宮城

会 長
山崎 透

労働者・生活者の視点から「東日本大震災からの復興・再生」に全力を尽くすとともに、ストップ・ザ・格差社会！をスローガンに「働くことを軸とする安心社会」の構築に向け、正規、非正規、あるいは組合員、非組合員を問わないすべての労働者を対象とした総合的な労働諸条件の改善とディーセントな雇用や共に生きる社会をめざす政策制度の実現に、全力で取り組みます。



宮城県
平和労組会議
議 長
大沼 元

日本版 NSC や特定秘密保護法の先には、集団的自衛権など「軍事力」を背景にした「積極的国際貢献」があり、改憲は許しません。

放射能被害に苦しむ中で、原発を「重要電源」に位置付けるエネルギー基本計画に反対します。



宮城友愛核禁会議
議 長
富永 信明

格差社会がもたらしている弊害が、社会の不安定化を増長しつつあります。健全なる経済と勤労者の生活を脅かす要因は英知をもって是正しなくてはなりません。宮城友愛核禁会議は、核兵器の廃絶と安全、安心社会を目指す運動に取り組んでまいります。



宮城県中立労働
組合連絡会
議 長
菅野 義雄

新年あけましておめでとうございます。

東日本大震災から3年を過ぎようとしていますが、本当の復興はこれからだと思います。

私たちは働く人たちの安心社会を目指し、労福協活動に全力で取り組んでいきます。



東北労働金庫
宮城県本部
本部長
鈴木富士夫

昨年はシステム変更に伴うご協力をいただきありがとうございました。労金は働く方々の生活応援バンクとして、人々が喜びをもって共生できる社会の実現と勤労者に身近な金融機関を目指してまいります。



全労済宮城県本部
本部長
及川 光行

新年あけましておめでとうございます。「組合員の生活と生命を守り、豊かな暮らしを実現する」生涯生活保障設計運動の推進強化に向けて、引き続き全力を挙げてまいります。



宮城県生協連
会長理事
齋藤 昭子

地域社会および被災者の生活の再建にむけて、また、「人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現」をめざして、活動してまいります。



宮城県労働
福祉センター
理事長
高橋 康夫

昨年の4月1日にて一般社団法人として新たにスタートいたしました。引き続き、勤労者の憩いの場として、会館（ハーネル仙台）を運営するとともに、福祉の増進と社会的、文化的な地位向上に努めていきます。



宮城県労働者
福祉基金協会
理事長
阿部 康志

昨年4月に一般財団法人へ移行しました。「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉型社会」の実現を目指し、“生活なんでも相談”をさらに充実させ、理事会一丸となって事業を展開して参ります。



宮城ろうふく会
総括施設長
我妻 壮一

高齢者が地域の中で、安全に安心して楽しく生活営むことが最も大切なことで、そのためには地域包括支援システムの構築が欠かせないと考えます。しかし、現実的には認知症や重度化する高齢者へのケアが複雑になっておりケアシステムの構築は難しい状況にあります。そのような高齢者社会の中で、当法人5事業所が連携をしながら質の高い福祉サービスに取り組んでいきます。

地方・地区労福協 年頭メッセージ



仙台地方労福協

議 長
星 幸司

東日本大震災からの復興・再生のスピードアップを目指し、はたらく仲間と家族みんなが元気に暮らしていけるような活動を進めていきたいと思っています。



塩釜地方労福協

会 長
小野 廣

震災を忘れず・風化させない運動と消費税増税の今年は、生活基盤拡充運動としての労福協運動が求められています。



石巻地方労福協

会 長
菅原 健二

東日本大震災から3年が経とうとしています。石巻地方の再生にはまだまだ時間がかかります。労福協に集うみんなの力を結集して一歩ずつ前に進みたいと思います。被災地を忘れず変わらぬ支援をお願いします。



気仙沼地方労福協

会 長
東 博

東日本大震災から三年目を迎える今年は、地域の復興が実感できる年にしなければなりません。労福協に集う会員一丸となって活動を展開して参りましょう！



大崎地方労福協

会 長
佐藤 光利

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。あまちゃんに元気をもらい楽天に感動をもらった一年でした。我々も元気と感動の一年となるような活動を目指します。よろしくお願いします。



仙南地方労福協

会 長
藤田 直治

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。更なる生活向上への課題解決に向け、地域の皆様との連携を強化し、充実した取り組みを推進して参りたいと思います。何卒皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



仙北地方労福協

会 長
藤村 孝喜

新年あけましておめでとうございます。本年も労福協活動に皆様の御協力をいただきながら、頑張って行きますので、よろしくお願い申し上げます。



岩沼地区労福協

会長代行
石山 光広

新年あけましておめでとうございます。東日本大震災からの復興状況は、地域間格差が広がりつつあると感じます。格差是正と社会不安・雇用問題等の解決に向け、地域労働者が連帯し活動の輪を広げて行く必要があります。本年も、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



白石地区労福協

会 長
一條 武志

新年あけましておめでとうございます。東日本大震災から3度目の新年を迎えました。震災から復興に向けた足取りはまだまだ重い状況にあると思います。一日も早い復興を願うと共に、労働団体・福祉事業団体の団結の「輪」がさらに広がるよう、白石地区労福協は精一杯取り組んで参ります。本年も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



泉・黒川地区労福協

会 長
赤間 達夫

新年あけましておめでとうございます。震災から間もなく三年目を迎えるとしています。労福協活動として、勤労者の生活安定と地域での交流を深め、復興活動に取り組んで参ります。本年も皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

